

彼等官上軍隊ヲ謀シテ

今

吉

一雄

中止

頑迷負債等ナル小泉ニ最早恐ルハ、是ラ又今夕モ
自分ニ向テ何トカ解決ノ方法ナイカト申込ニタカ五人
決シテ妥協リセ又

佐倉宗五郎ヲ引例シ彼レハ社會人類ノ為ニ自分ノ
命ヲ棄テテ美德ハ今尚ホ崇拝サレテ居ル

吾人モ佐倉宗五郎ノ意氣ヲ以テ物トキ道德ヲ創
造シ又一總テノ教育自ラテ人道ヲ創造セバハナラ又
一レハ、綱領ノ方貴リ絶体ニ相調セ来ナイト記レ
テアハ 吾人ノ絶体ニ相調トカ妥協リヤラ又
争議シ當ラテ如何ニシハ勝ツカト云フニ非ズ、如何ニ
スレハ資本家此ノ正義ヲ注入シ得ルカトアハ

勇敢ノ闘ハ勝敗ヲ争フモノニアラス要ニ闘フト其レ

自体ガ勝ハテ居ルノテアハ

一切ノ生産ヲ獲得スル迄ハ武装ヲ解リナ、此ノ争

議ニ勝テモ一交工場ニ入レハ依然トシテ採取サレ

ルノコトアル

故ニ吾人ハ吾人ノ欲スル物社會ヲ創造スル迄デ

則チ革命

和

田

武

一

中止

此度小泉工場カ職ヲ解雇シ何等ノ手当モ為サズ
之ヲ解雇職工ニ因トナリテ正義ノ交渉正義
運動ヲ為シタルニ官憲直々ニ彼ノ極悪ナル会社
ヲ保護シ吾等ノ正義ノ行動ヲ妨グルテアリマス
彼ノ我敵令下シテ此ノ如キ官憲ノ威迫ハナ